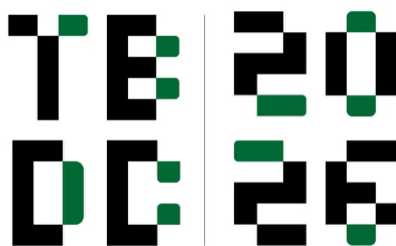


報道関係各位

## 多摩地域の4市と6大学が連携し、学生の「挑戦したい」気持ちを支援

「多摩ビジネスデザインキャンプ2026」参加学生を募集します（8月24日締切）



TAMA BUSINESS DESIGN CAMP 2026

国立市、八王子市、立川市、日野市の4市は、多摩地域の大学等（一橋大学、武蔵野美術大学、帝京大学、明星大学、東京農工大学、中央大学グローバルアントレプレナーシップ教育推進委員会）と連携し、「多摩未来共創フィールド」の取り組みを開始しました。本事業は、令和8年度多摩・島しょ広域連携活動助成事業として、自治体・大学・地域の企業や人材が協力し、学生が多摩地域の課題に向き合いながら新たなビジネスを構想・実践する場を広域でつくるものです。短期的な起業の実現だけでなく、学生が地域を深く知り、地域の人々と関係を築くプロセスを通じて、卒業後も多摩地域と関わり続ける人材を育てることを目指します。

その第一弾として、学生向けビジネスデザインプログラム「多摩ビジネスデザインキャンプ2026」の参加者を募集します。大学や学部の枠を越えてチームを組み、地域課題をもとにビジネスアイデアを構想する1泊2日の合宿型プログラムです。ビジネスの知識や起業経験は不要で、参加費は無料です（交通費は自己負担）。

### 募集概要

- ・対象：多摩地域にキャンパスがある大学に在学中の学生（大学院生含む）、または国立市、八王子市、立川市、日野市在住の大学生で、プログラムの全日程に参加できる方
- ・定員：合宿参加者20名（一次選考ワークショップ参加者定員40名。応募者多数の場合は書類選考を実施）
- ・参加費：無料（合宿の宿泊費・食費は主催者負担、交通費は自己負担）
- ・応募方法：特設サイト（<https://bdc.tama-mirai.org/>）内のエントリーフォームから
- ・応募締切：2026年8月24日（月）13:00

### 今後のスケジュール

- ・9月5日（土）・12日（土）：一次選考ワークショップ
- ・9月26日（土）：プレワークショップ（一次選考通過者対象）
- ・10月16日（金）・17日（土）：高尾山合宿（会場：タカオネ／高尾山口駅徒歩2分）
- ・11月5日（木）：最終プレゼンテーション（立川市内を予定）

昨年度の最終プレゼンテーションには、学生、大学関係者、自治体職員、企業関係者など72名が参加しました。

## 取材について

本プログラムに関する取材をご希望の場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

## 運営・主催・お問い合わせ先

◆運営：多摩未来共創フィールド実行委員会事務局（一橋大学、武蔵野美術大学、帝京大学、明星大学、東京農工大学、中央大学グローバルアントレプレナーシップ教育推進委員会）

※令和8年度多摩・島しょ広域連携活動助成事業

◆主催：国立市、八王子市、立川市、日野市

## 武蔵野美術大学について



Musashino  
Art  
University  
1929-2029  
100th  
美はつづく。

本学創立 100 周年事業シンボルマーク・コンセプトワード

2029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は7万7,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付く、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

市ヶ谷キャンパス

03-5206-5311

[jikkenku@musabi.ac.jp](mailto:jikkenku@musabi.ac.jp)

（取材のお問い合わせはメールにてお願いいたします）